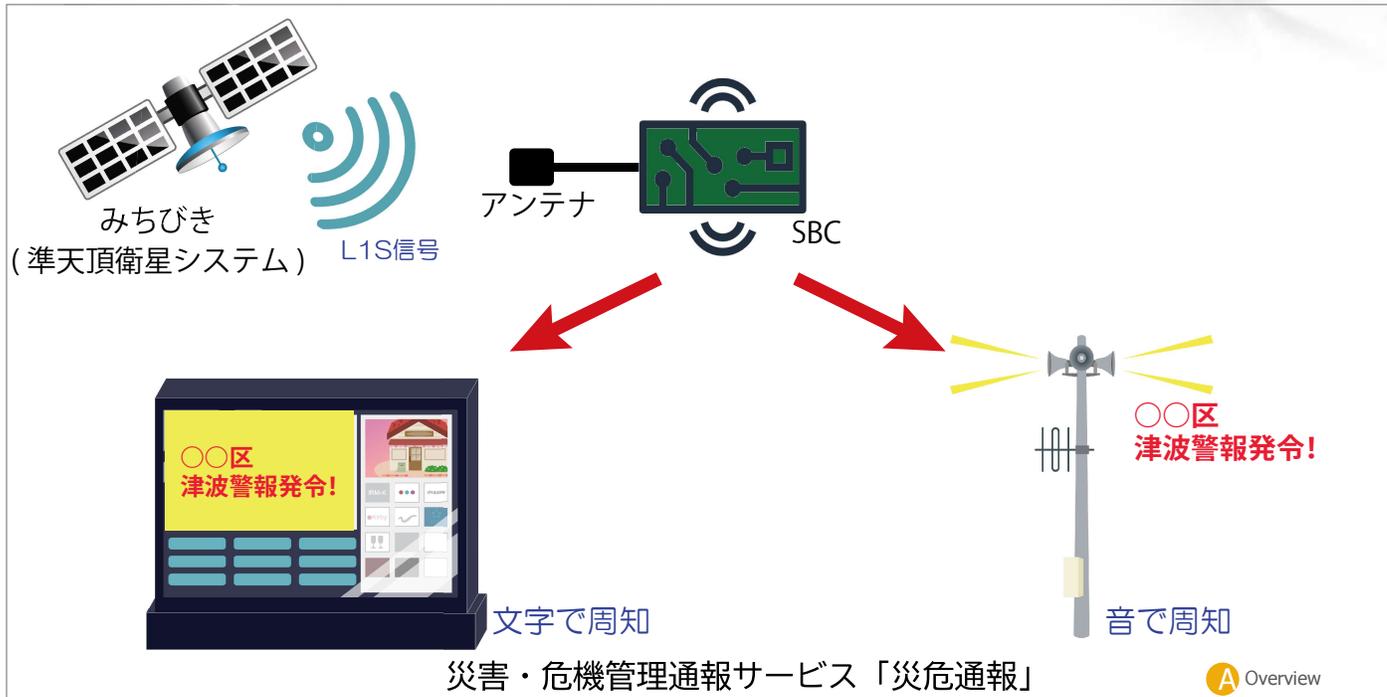
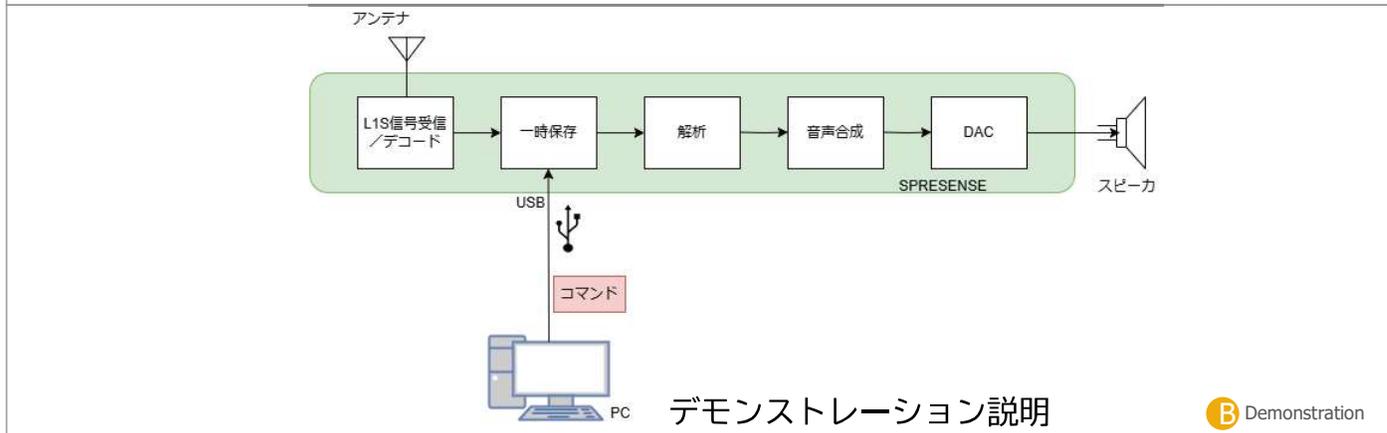


災害・危機管理通報サービス「災危通報」用・GNSSレシーバー



A Overview



B Demonstration

- A 概要
- B デモンストレーション

Tonics “GNSS(Global Navigation Satellite System)”は地球全域をカバーする衛星を用いた測位システムの総称です。このシステムは地球上の任意の場所で正確な位置情報を提供するために使用されます。“L1”はGPSの主な周波数で約1.575[GHz]であり、GNSSシステムでも共通して使用されています。“L1S信号”は特に日本の準天頂衛星システム(QZSS、通称「みちびき」)で使用され、正確な位置情報以外に、自然災害や人為的災害に対する迅速な対応と防災・減災活動を支援するための情報も提供されています。このL1S信号の災危情報は衛星を使って直接地上に送るため、広範囲かつ迅速に情報を伝達できます。

メリット

- ・ 衛星を使って情報を直接地上に送るため、広範囲かつ迅速に情報を伝達できます。
- ・ 通信インフラが破壊された場合でも情報取得が可能です。
- ・ 日本全国をカバーするため、地方や山間部でも情報が届きます。
- ・ 海外からの観光客などに対しても理解可能な情報提供が可能です。

デモンストレーション/試作

SBC SONY製 [SPRESENSE]
 音声出力 モノラル, 48[kHz]サンプリング
 災害カテゴリ 緊急地震速報、津波、気象、洪水、台風、火山
 音声合成 ©VOICEVOX Nemo